

健康リスク初期評価結果一覧（11物質）

番号	物質名 [CAS番号]	有害性の知見 ^(注1)				曝露評価 ^(注1)		MOE・過剰発生率 ^(注1, 3)		リスクの判定 ^(注1, 4)	総合的な判定 ^(注1, 4, 5)	過去の公表 ^(注6)
		曝露経路	リスク評価の指標 ^(注2)	動物	影響評価指標（エンドポイント）	曝露の媒体	予測最大曝露量・濃度					
1	2-アミノピリジン [504-29-0]	経口	無毒性量等 — mg/kg/day	—	—	飲料水	— μg/kg/day	MOE	—	×	(○) ^(注7)	—
						淡水	0.00019 μg/kg/day	MOE	—	×		
		吸入	無毒性量等 — mg/m ³	—	—	一般環境大気	< 0.000051 μg/m ³	MOE	—	×		
						室内空気	— μg/m ³	MOE	—	×		
2	p-アミノフェノール [123-30-8]	経口	無毒性量等 10 mg/kg/day	ラット	腎症	飲料水	— μg/kg/day	MOE	—	×	○	—
						淡水	0.00048 μg/kg/day	MOE	2,100,000	○		
		吸入	無毒性量等 — mg/m ³	—	—	一般環境大気	— μg/m ³	MOE	—	×		
						室内空気	— μg/m ³	MOE	—	×		
3	銀及びその化合物 [7440-22-4（銀）]	経口	無毒性量等 0.0013 mg Ag/kg/day	ヒト	銀沈着症	飲料水	< 0.0024 μg Ag/kg/day	MOE	> 540	○	(▲) ^(注9)	—
						淡水	0.0048 μg Ag/kg/day	MOE	270	○		
		吸入	無毒性量等 — mg Ag/m ³	—	—	一般環境大気	0.0033 μg Ag/m ³	MOE	—	×		
						室内空気	— μg Ag/m ³	MOE	—	×		
4	2,4-ジニトロフェノール [51-28-5]	経口	無毒性量等 0.02 mg/kg/day	ヒト	白内障	飲料水	— μg/kg/day	MOE	—	×	○	—
						淡水	0.01 μg/kg/day	MOE	2,000	○		
		吸入	無毒性量等 — mg/m ³	—	—	一般環境大気	— μg/m ³	MOE	—	×		
						室内空気	— μg/m ³	MOE	—	×		
5	ジベンジルエーテル [103-50-4]	経口	無毒性量等 20 mg/kg/day	ラット	肝臓重量の増加	飲料水	— μg/kg/day	MOE	—	×	○	—
						淡水	0.00026 μg/kg/day	MOE	7,700,000	○		
		吸入	無毒性量等 — mg/m ³	—	—	一般環境大気	0.00056 μg/m ³	MOE	—	×		
						室内空気	— μg/m ³	MOE	—	×		
6	ジベンゾ[b,d]チオフェン [132-65-0]	経口	無毒性量等 0.3 mg/kg/day	ラット	肝臓・腎臓の相対重量増加、自発運動の低下など	飲料水	— μg/kg/day	MOE	—	×	○	—
						淡水	0.00016 μg/kg/day	MOE	190,000	○		
		吸入	無毒性量等 — mg/m ³	—	—	一般環境大気	— μg/m ³	MOE	—	×		
						室内空気	— μg/m ³	MOE	—	×		
7	有機スズ化合物 (ジオクチルスズ化合物)	経口	無毒性量等 0.0039 mg/kg/day	ラット	胸腺のリンパ球の減少	飲料水	— μg/kg/day	MOE	—	×	(▲) ^(注9)	—
						淡水	0.00038 μg/kg/day	MOE	1,000	○		
		吸入	無毒性量等 — mg/m ³	—	—	一般環境大気	— μg/m ³	MOE	—	×		
						室内空気	— μg/m ³	MOE	—	×		
8	有機スズ化合物 (モノブチルスズ化合物)	経口	無毒性量等 6.0 mg/kg/day	ラット	肝臓相対重量の増加、網赤血球の増加など	飲料水	— μg/kg/day	MOE	—	×	○	—
						淡水	0.0056 μg/kg/day	MOE	110,000	○		
		吸入	無毒性量等 0.0027 mg/m ³	ラット	肺胞水腫	一般環境大気	0.0068 μg/m ³	MOE	40	▲		
						室内空気	— μg/m ³	MOE	—	×		
9	有機スズ化合物 (ジブチルスズ化合物)	経口	無毒性量等 0.019 mg/kg/day	ラット	免疫系への影響	飲料水	— μg/kg/day	MOE	—	×	○	第8次
						淡水	0.00016 μg/kg/day	MOE	12,000	○		
		吸入	無毒性量等 — mg/m ³	—	—	一般環境大気	< 0.0038 μg/m ³	MOE	—	×		
						室内空気	— μg/m ³	MOE	—	×		
10	有機スズ化合物 (ジメチルスズ化合物)	経口	無毒性量等 0.042 mg/kg/day	ラット	神経症状、体重増加の抑制、脳・腎臓・胸腺組織への影響	飲料水	— μg/kg/day	MOE	—	×	○	—
						淡水	0.0030 μg/kg/day	MOE	1,400	○		
		吸入	無毒性量等 — mg/m ³	—	—	一般環境大気	0.0048 μg/m ³	MOE	—	×		
						室内空気	— μg/m ³	MOE	—	×		
11	ビス(2,2,6,6-テトラメチル-4-ピペリジル)セバケート [52829-07-9]	経口	無毒性量等 0.29 mg/kg/day	ラット	体重増加の抑制	飲料水	— μg/kg/day	MOE	—	×	○	—
		淡水	0.0036 μg/kg/day	MOE	8,100	○						
		吸入	無毒性量等 — mg/m ³	—	—	一般環境大気	— μg/m ³	MOE	—	×		
						室内空気	— μg/m ³	MOE	—	×		

- (注1) ー：リスク評価の指標が設定できなかった、あるいは予測最大曝露量・濃度が設定できなかった場合、MOE・過剰発生率（がん）の算出ができなかった場合。 （－）：評価の対象外、あるいは評価を実施しなかった場合。
- (注2) リスク評価の指標：本評価は基本的に安全サイドに立ったスクリーニングとして実施していること、情報の質、量は化学物質により大きく異なることから、化学物質間の相対的な毒性強度を比較するような場合等には、この数値を単純に使用するのではなく、更なる詳細な検討を行うことが必要。
無毒性量等：長期間の連続曝露に補正したNOAEL（長期毒性以外の知見を採用した場合等）又はNOAEL相当（LOAELを10で除した場合等）の値。
- (注3) MOE：無毒性量等を予測最大曝露量、あるいは予測最大曝露濃度で除した値。但し、無毒性量等を動物実験から設定した場合には10で除し、さらにヒトで発がん作用があると考えられる場合には最大10で除して算出する。
また、無毒性量等を発がん性から設定した場合には原則10で除して算出する。
- (注4) ○：現時点では作業は必要ない、 ▲：情報収集に努める必要がある、 ■：詳細な評価を行う候補、 ×：現時点ではリスクの判定はできない。
- (注5) リスク評価の指標が設定できない場合や曝露情報が把握されていないためにMOE・過剰発生率（がん）の算出ができず、リスクの判定ができなかった場合でも、関連情報から情報収集等の必要性について推定できた場合には、健康リスク評価分科会による総合的な判定により下記の通り分類した。また、リスク判定ができた場合でも、必要に応じて総合的な判定を実施した。
（○）：情報収集等を行う必要性は低いと考えられる、 （▲）：情報収集等を行う必要があると考えられる、 （■）：詳細評価を行う候補と考えられる。
- (注6) 再評価物質については、過去において第何次のとりまとめで公表したかを示す。
- (注7) リスク評価の指標が設定できなかった物質：曝露経路間の換算により算出した値、許容濃度（TLV-TWAなど）や異性体情報などを考慮した。
- (注8) 予測最大曝露量・濃度が得られなかった物質：過去の曝露データや限られた地域の曝露データ、PRTRデータを用いた濃度予測結果、媒体別分配割合の予測結果、水中や大気中での半減期、生産量、物性などを考慮した。
- (注9) 総合的な判定として、飲料水や地下水などの過去の曝露量や曝露濃度、PRTRデータを用いた濃度予測結果などを考慮した。